

平成25年10月17日
於
府中市立教育センター

平成25年第10回

府中市教育委員会定例会会議録

府中市教育委員会

平成25年第10回府中市教育委員会定例会会議録

- 1 開 会 平成25年10月17日(木)
午後1時30分
閉 会 平成25年10月17日(木)
午後2時37分
- 2 会議録署名員
委 員 村 越 ひろみ
委 員 松 本 良 幸
- 3 出席委員
委員長 崎 山 弘 委員長職務代理者 齋 藤 裕 吉
委 員 村 越 ひろみ 委 員 松 本 良 幸
教育長 浅 沼 昭 夫
- 4 欠席委員
な し
- 5 出席説明員
教育部長 今 永 昇 文化スポーツ部長 後 藤 廣 史
教育部副参事兼指導室長 文化振興課長 酒 井 利 彦
三田村 裕 ふるさと文化財課長 江 口 桂
総務課長 澁 谷 智 ふるさと文化財課長補佐 黒 沢 明 美
総務課長補佐 北 村 均 生涯学習スポーツ課長 矢ヶ崎 幸 夫
学務保健課長 中 村 孝 一 生涯学習スポーツ課長補佐兼スポーツ推進計画担当副主幹
給食担当主幹 須 恵 正 之 古 田 実
学務保健課長補佐 山 田 晶 子 図書館長 佐々木 政 彦
指導室長補佐 古 塩 智 之 美術館副館長 山 村 仁 志
相談担当副主幹 阿 部 憲 靖
指導主事 大 津 嘉 則
指導主事 山 本 勝 敏
指導主事 三 田 暢 夫
- 6 教育委員会事務局出席者
総務課係長 熊 坂 奈 美
総務課事務職員 山 田 大 輔

議 事 日 程

第1 会議録署名員選定について

第2 会期決定について

第3 議案

第31号議案

府中市特別支援教育推進計画 第二次推進計画について

第4 報告・連絡

- (1) 「第4回武蔵府中熊野神社 古墳まつり」について
- (2) 「府中の発掘お宝展2013 古代人の祈りの世界」について
- (3) 「市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別見学会・展示会」について
- (4) 郷土の森博物館常設展示室リニューアル改修に伴う利用休止及び休館について

第5 その他

第6 教育委員報告

午後1時30分開会

○委員長（崎山 弘君） ただいまより、平成25年第10回府中市教育委員会定例会を開会いたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 本日の会議録署名員は、村越委員と松本委員にお願いいたします。

_____ ◇ _____

○委員長（崎山 弘君） 会期は本日1日といたします。

_____ ◇ _____

◎傍聴許可

○委員長（崎山 弘君） 傍聴希望者がおりますので、許可してよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

_____ ◇ _____

◎第31号議案 府中市特別支援教育推進計画 第二次推進計画について

○委員長（崎山 弘君） それでは第31号議案の審議に入ります。

第31号議案の朗読をお願いします。

（事務局朗読）

○委員長（崎山 弘君） 説明をお願いします。

はい、どうぞ。

○指導主事（大津嘉則君） 府中市特別支援教育推進計画第二次推進計画（案）に対するパブリック・コメント手続きの実施結果について報告するとともに、府中市特別支援教育推進計画第二次推進計画の実施についてお諮りするものでございます。

初めに、資料「『府中市特別支援教育推進計画 第二次推進計画（案）』に対するパブリック・コメントの手続きの実施結果について」をご覧ください。

本計画のパブリック・コメントは、平成25年9月2日から同年10月1日まで実施し、その間に市民等からいただいた意見や提案、質問をまとめたものでございます。

意見等の提出者数としまして、提出者数は、連名や団体は1つとして換算した場合に10、件数は同一意見を1つとしてまとめた場合に83件、意見等の提出方法としましては、主に電子メールが8件と多くありました。

市民等からの意見・提案・質問の概要とそれに対する市の考えについて、主な意見としましては、1ページ下にあります推進計画の実施期間について、全体に係る質問とそれぞれの項目に対する質問を合わせて10件ありました。回答については、「本計画は、平成26年度から平成30年度までの5年間で実施していきます。その間に予算の配当や国や都など様々な状況を勘案し進めていきます。」としています。これは、計画期間において予算の関係や国や都の動向によって大きく変更される場合がありますので、年度ごとに計画を立て、実施し、チェックをして、さらに改善と計画を立てていくPDCAサイクルで見直しを図っていき、柔軟に対応できるようにするという理由からになります。

次に、7ページ、35から38にあります特別支援学級の新設・増設に対する意見が多くありました。この意見についての回答は、基本的に新設及び増設の方向で検討し、「児童・生徒の推移、設置候補校、予算等を考慮し、検討していきます。」としました。障害のある児童・

生徒、とりわけ発達障害のある児童・生徒の増加に対して教育委員会として対応していく必要があると考えています。

次に、意見等から計画に反映したものについては、戻りまして3ページ、14の「第一次推進計画を振り返って」に記載していなかったもの、次に6ページ、28の「府中市における現状と分析」で都立特別支援学校の設置場所について記載のミスがあったもの、9ページ、48から50の「校（園）内委員会のより一層の充実」や12ページ、68の「就学・転学相談の充実」に記載漏れがあったものなどを加筆・訂正を行いました。

市民からの多くの意見から感じるところは、本計画をしっかりと遂行してもらいたい、府中市の特別支援教育をより一層充実してもらいたい、そのためには協力していきたいというものであったと受けとめています。

以上が府中市特別支援教育推進計画第二次推進計画（案）に対するパブリック・コメント手続きの実施結果についての報告になります。

このパブリック・コメントを受け再検討した計画が、お手元にあります「府中市特別支援教育推進計画 第二次推進計画」になります。これまで教育委員会定例会等で審議・報告いたしましたことから大きな変更等はございませんが、パブリック・コメントの実施結果で報告した反映した箇所については加筆・訂正を行っています。

本計画は平成26年度から平成30年度までの5年間実施してまいります。その間に計画をPDCAサイクルで見直し検討を重ね、小改定を行いながら、実際の状況に即応していく柔軟性を持たせた計画として特別支援教育のより一層の充実に向けた取り組みを行っていきたくと考えております。

以上で報告・説明を終わります。よろしくご審議くださいますようお願いいたします。

○委員長（崎山 弘君） ただいま事務局の説明が終わりました。何かご質問ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

一度目を通してあったものに対して、このパブリック・コメントでまた少し加筆されるところがあるという流れです。よろしいですか。

では、齋藤委員。

○委員（齋藤裕吉君） こちらの回答について、これがちょっとどうだということではなくして、そのとおりだなと思うことで、冒頭言いました「はじめに」のところ、市内保育所等についてもぜひ対象にしてほしいという意見に対して、回答のところで、「特別支援教育推進連絡会等で連携を図りながら」という回答ですね。とても大事なことだと思います。

実際、小学校側から見ますと、小学1年生のスタートの段階でいろいろと課題があるというようなことがこの間ずっとと言われておりますけれども、最初、情報がすごく足りないという状況の中でクラス編成をしたり、あるいは指導計画をつくったりというようなことで対応していて大変難しい状況になってしまうということがよくあるわけでありますので、しかも、子供たちというのは、小学校に入ってくる子供たち、幼稚園、保育園、いろいろなところから入学してくるわけですので、そのような連携をしっかりとっていくという姿勢を示していくことはとても大事なことだと思いますので、よろしくお願ひします。

以上です。

○委員長(崎山 弘君) 私も、やはり今、齋藤委員がおっしゃられたように、これは、うちが府中市の外れのほうで小児科をやっているの、国分寺の保育園にいるけれども、府中市民で府中の小学校に入るような子もいたりするわけで、それを個別に今でも対応されているということなので、これは計画としてこういう文面にはなっていますが、実務上、この計画に基づいて市民の教育について考えているわけですから、文面としては特別私は問題ないし、この回答で十分かと思いました。

ほかにご意見、思いつくことがありますでしょうか。よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○委員長(崎山 弘君) それでは、お諮りいたします。

第31号議案 府中市特別支援教育推進計画第二次推進計画について、決定することにご異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長(崎山 弘君) 全員異議なしですので、原案どおり決定いたします。



◎報告・連絡(1)「第4回武蔵府中熊野神社 古墳まつり」について

○委員長(崎山 弘君) それでは、報告・連絡に移ります。

報告・連絡の1番について、ふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐(黒沢明美君) それでは、ふるさと文化財課から、「第4回武蔵府中熊野神社古墳まつり」について、資料1に基づきご報告いたします。

全国でも類を見ない最大規模で最古の上円下方墳で、歴史的に大変貴重な国史跡武蔵府中熊野神社古墳において、第4回古墳まつりを開催いたします。

熊野神社古墳保存会を中心に、周辺の自治会や市民団体等のご協力のもと、出店コーナーや古墳パレード、さらに、古墳を舞台に繰り広げられるジャズや二胡と琵琶による演奏など、数多くの方々が出演される古墳コンサートなど、盛りだくさんの催し物が行われます。

日程は、10月19日土曜日が午後5時から8時まで、20日日曜日は午前10時半から午後4時までで、小雨決行となっております。

どうか、古代の伊吹を感じていただける古墳まつりにぜひお越しください。

以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。松本委員。

○委員(松本良幸君) 質問ではないですが、私も古墳保存会のメンバーでございまして、また、地域の神社のお祭りとは違って、地域の方々は、特に新しく府中に来られた方々が多く参加されていて、私も地域で見ている、新しい方と一緒にふれあえるということでもいいイベントだと思いますので、ぜひとも盛り上げていただいて、また、今テレビによりますと、「古墳ブーム」というような言葉が出てきて、風が吹いてきているのかなと思っております。予算もありますから、お金はかけられない分があるかと思いますが、その中で工夫して、地域と一体になって盛り上げていただけたらありがたいということで、よろしくお願ひしますというお願ひをさせていただきます。

○委員長(崎山 弘君) ありがとうございます。

ほかには何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

私も昨年、この古墳まつりに参加いたしまして、コンサートとか、かなり楽しいお祭りでしたので、ぜひ多くの方が来ていただけるとありがたいかなと思います。

ちなみに、今年は五小の関係で何かするのでしょうか。前は五小の方たちが何か、子供たちが参加していたような気がしたのですが、何かありましたか。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） 今年、周辺の小・中学生、高校生の出演は、ほかの行事とぶつかりまして、参加はございません。

○委員長（崎山 弘君） わかりました。ありがとうございます。

ほかには何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） では、報告・連絡の（１）について、了承いたします。



◎報告・連絡（２）「府中の発掘お宝展２０１３ 古代人の祈りの世界」について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡の（２）について、同じくふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） 続きまして、「府中の発掘お宝展２０１３ 古代人の祈りの世界」につきまして、資料２に基づきご報告いたします。

本日の資料につきましては世展のみの資料となっておりますが、現在、カラー版のポスター、チラシを作成中ですので、出来次第、学校をはじめ公共施設等で配布を行いたいと思っております。

府中市では、昭和５０年から現在まで約１，６００カ所を超える発掘調査を行ってまいりました。その調査成果をさまざまな形で多くの方々にご紹介しておりますが、今年もフォーリスで「府中の発掘お宝展２０１３」を開催いたします。

今回は、「古代人の祈りの世界」をテーマに、縄文時代から近代までの人の自然や人、神や仏などへ捧げられた多様な想いを「祈り」ととらえ、その祈りに関連した出土品を展示、解説するものです。

会期は１１月１日金曜日から７日木曜日まで、時間は午前１０時から午後８時まで。最終日の７日は午後５時までとなります。会場はフォーリス１階「光と風の広場」でございます。

なお、会期中にギャラリートークを１１月３日午後２時から行います。

どうか、祈りの世界に誘うお宝展へお越しくください。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） よろしいでしょうか。

それでは、報告・連絡の（２）について、了承いたします。



◎報告・連絡（３）「市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別見学会・展示会」について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡の（３）について、同じくふるさと文化財

課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） 報告（3）の「市史跡旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕特別見学会・展示会」につきまして、資料3に基づいてご報告いたします。

旧陸軍調布飛行場白糸台掩体壕は、太平洋戦争末期につくられた戦闘機用の防空壕です。市では、戦争の悲惨さや平和のとうとさを次世代へと語り継いでいくための貴重な文化財として白糸台掩体壕を保存整備し一般公開を行っております。

東京文化財ウィーク2013の開催に伴い、通常では公開していない壕の内部を特別に公開する特別見学会を11月3日日曜・祝日の午前10時から午後4時まで行います。10時半と午後2時ごろの2回、職員が解説を行う予定ですが、回覧者の状況を見て、ほかの時間においても解説を行いたいと考えております。

裏面に掩体壕の略図になっておりますが、掲載しております。ちょっとわかりにくいと思いますが、西武多摩川線の白糸台駅もしくは京王線の武蔵野台駅から徒歩となっております。ちょうど甲州街道の下あたりになります。

なお、10月20日の調布飛行場まつりにおいても調布飛行場の歴史パネル展示会を行います。ぜひこの機会にご覧ください。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして何かご質問、ご意見ございますでしょうか。齋藤委員。

○委員（齋藤裕吉君） 見学会そのものについてではないのですが、ふだんは中に住民立ち入りはできないのですね。それで、管理を普段どうしているかなというところをお聞きしたいのですが、例えば、最初、このオープニングのときに私も参加させていただいて中を見せてもらっているのけれども、例えば昨日のような強烈な雨風のあるときなどは、結構中に吹き込んで、その原形がどんどん流されてしまったりとか、そういうこともあるのかなと思うのですが、管理はふだんどうやっているのでしょうか。

○委員長（崎山 弘君） どうぞ。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） まず、人が周りにいないこともありましたので、整理段階で、できるだけ管理が問題ないような形で、例えば、舗装をインターロッキングでしたりとかという形でやっております。あとは、近隣住民の方も、自治会長さんを含めて、周囲の方にご協力いただいて見回り等をしていただいております。台風の被害等につきましては、胴体はコンクリート製のものです。上に保存整備の段階で補修を施しておりますので、中に雨等が吹き込んでも保存には問題ないような形での整備を行っておりますので、そういう意味では管理上の大きな問題はなかったと考えております。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） よろしいでしょうか。

○委員（齋藤裕吉君） ありがとうございます。壕の中の地面などもいろいろと意味がある部分があるのだというお話もオープニングのときに聞いたりしたものですから、ちょっとお聞きしました。よろしくをお願いします。

○委員長（崎山 弘君） 村越さん、どうぞ。

○委員（村越ひろみ君） 私は昨年伺わせていただいたのですが、確かにきちんと整備されて

いるなというのは感じていました。毎年これを行うというのですよね。どれぐらいの参加者、増減とか、近くの小学校が団体で見に行くとかということがあるのか、ちょっと伺いたいのですけれども。

○委員長（崎山 弘君） お願いします。

○ふるさと文化財課長（江口 桂君） まず、この11月3日につきましては、オープン後、昨年からはじめておりました、昨年の入場者が、この1日で、正確な数字はちょっと今手元にございせんが、200人ぐらいは来ていただきました。その中には、調布飛行場の掩体壕を保存する会という団体がございます、市民団体のほうでいろいろな団体に声をかけていただいて、団体で見学に来ていただいたところもございます。また、近隣の学校につきましては、この11月3日以外でも、特に学校のほうで希望する日があれば、私ども市の職員が立ち会って見学する機会などを設けるようお願いしておりますので、そういう形で広く学校のほうには呼びかけをいたしてまいっているところでございます。

以上でございます。

○委員（村越ひろみ君） ありがとうございます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見、ご質問ございますでしょうか。
よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） では、報告・連絡の（3）について、了承いたします。

◇
◎報告・連絡（4）郷土の森博物館常設展示室リニューアル改修に伴う
利用休止及び開館日の変更について

○委員長（崎山 弘君） 続きまして、報告・連絡の（4）について、同じくふるさと文化財課、お願いいたします。

○ふるさと文化財課長補佐（黒沢明美君） 郷土の森博物館常設展示室リニューアル改修に伴う利用休止及び休館について、資料4に基づいてご報告いたします。

平成21年度から中断しておりました郷土の森博物館常設展示室のリニューアル改修が今年度から再開することとなり、平成26年10月の完成を目指して既に取りかかっておりますが、今後、一部の施設において、ご利用を一部休止させていただくことになります。

常設展示室は、平成26年4月1日から10月3日まで全面的に休止いたします。その対応としまして、4月8日火曜日から9月21日の期間は、常設展示室の資料の一部を特別展示室で展示公開いたしますのでご観覧いただけます。また、プラネタリウムと会議室については、4月1日から9月21日までの平日の利用はできませんが、4月26日から5月6日のゴールデンウィークの期間中及び土曜・日曜・祝日の利用は可能となります。

なお、ミュージアムショップ、喫茶コーナー、園内の各施設につきましては、通常どおりご利用いただけます。また、開館を予定しておりました12月17日火曜日と平成26年2月3日月曜日を施設の維持管理上、休館とさせていただきたいと存じます。

これまで多くの小・中学校に郷土学習や天体学習等でご利用いただいておりますが、中断しておりました常設展示室のリニューアルにより、さらにわかりやすく、楽しみながら学べる参加型展示室を設けるなど一層の充実を図ってまいりたいと考えております。今後も博物館をご

活用いただきたくお願いいたします。

報告は以上でございます。

○委員長(崎山 弘君) ただいまの報告について何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいでしょうか。では、私のほうから。

このエリアの常設展示室が全面休止ということになると、今、学校のほうから見学などに来ていただいている部分にかなり支障が来るというか、特別展示室で一部をとると、今までのような学習的なものがかなり制限されるような気がするのですけれども、来年度も、やはり各学校には見学にぜひ授業の一環として来てくださいという形でこの期間もお願いするのでしょうか。それとも、この期間が終わってからということになるのでしょうか。何かご計画はございますでしょうか。

○ふるさと文化財課長(江口 桂君) 確かに、ご指摘のとおり全面休止ということで支障は出るのですが、特別展示室を含めて博物館挙げて、できるだけそのほかのスペースも活用しながら、この常設展示室の休止を支障がない形で、平常どおりとはいきませんが、今までどおり各学校には呼びかけをして、見学希望の団体の学校には、ご利用いただけるように館を挙げて努力してまいりたいと考えております。

○委員長(崎山 弘君) わかりました。かなり広いスペースなので、半分ずつ部分的に改修みたいなことを考えられるかと思ったのですが、そうでなく、もう一気に全部展示がえというか休止してしまったほうが、計画的には楽ということなのでしょうか。

○ふるさと文化財課長(江口 桂君) 当初、委員長が今おっしゃっていただいたように、部分的に分割して3年かけてやる予定でいたのですが、それを工期を短縮することで効率的かつ予算的にも削減する形で見直しを図りまして、できるだけ休止の期間を少なくする形で全面リニューアルと。また、実は今、中断してきたことで、間が歯抜け状態になっておりまして、逆にそこで学校団体の利用に支障が出ておりましたので、ここで一気に更新をして、それが終わって、また復活というところに大きな意味があると考えております。

○委員長(崎山 弘君) 丁寧な説明ありがとうございました。すると、むしろ学年の途中で工事が終わるのであれば、10月完成してから皆さん来てくださいと案内したほうが何か親切なのではないかとどっちにしても思うのですけれども、それぞれ学校のご都合もあるでしょうからなかなかそうはいかないかもしれませんが、やはりできれば、子供たちから見れば、完成したほうを見たいのではないかと、ちょっと素人的な発想で思いました。別にそれだけです。結構です。

ほかに何かご質問、ご意見。では、齋藤委員。

○委員(齋藤裕吉君) 学校のほうでは本当に、先ほど来のお話があるように、期待をして活用させてもらっておりますので、休止という日程については、早めに学校のほうに連絡をしていただいたほうがよろしいと思います。大体12月ごろにはもう来年度の年間行事予定の大まかなところを決め始めていくというテンポがありますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長(崎山 弘君) 学校がそういうふうに計画すればいいことですからね。

ほかに何かご質問、ご指摘ございますでしょうか。ご意見ございますでしょうか。

よろしいでしょうか。

(発言する者なし)

○委員長（崎山 弘君） では、報告・連絡の（４）について、了承いたします。



◎その他

○委員長（崎山 弘君） その他ですが、何かございますでしょうか。

○文化スポーツ部長（後藤廣史君） 続きまして、本日お配りいたしました「スポーツ祭東京 2013の閉幕にあたって」という資料でご説明、ご報告したいと思います。

スポーツ祭東京2013は先だって閉幕いたしました。ここで人数等のご報告をするものでございます。

まず、1、大会の来場者数でございますが、国体の正式競技であります卓球、開催日数は、そちらに書いてありますが、5日間で延べ2万51人。次にサッカー競技、これは開催期間が4日間、4,506人。3番目の軟式野球競技、こちらが雨天により1日順延いたしまして開催期間が4日間になりました。それで、延べ3,239人。4番、ダブルダッチの種目でございますが、こちらは国体のデモンストレーション競技という位置づけになっております。開催は1日で1,074人。5番目のフォークダンス、こちらにつきましても開催日数は1日で、904人。続きまして、6の障害者スポーツ大会サッカー競技でございますが、開催期間が3日で1,439人。

続きまして、今後の国体推進室のスケジュールでございます。ご説明いたします。

11月29日までに運営費交付金の一括実績の報告を東京都に対して行いまして、12月に入りますと、後催県であります、来年の国体は長崎県でございます。向こう4年間はまだ決定しておりますが、この4県の方が府中市にお越しになります。この後催県への事業概要説明会を12月12日にサッカー競技、12月19日に卓球競技をルミエール府中で行います。

なお、軟式野球競技につきましては、6市町村の共同開催であるため、立川市において開催されるということになります。

来年に入りまして、2月下旬にスポーツ祭東京2013府中市実行委員会第5回総会を開催いたしまして、解散ということになります。

スポーツ祭東京2013開催に当たりましては、教育委員の皆様には、多くの会場にお出かけいただきまして観戦いただきました。お礼申し上げたいと思います。

全国からお見えになりました選手、監督、大会関係者、そして応援の皆様、学校の団体応援団など、おもてなしの心で歓迎することができたのかなと思っております。どうもありがとうございました。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。よろしいですか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） ほかにその他、何かございますでしょうか。

○教育長（浅沼昭夫君） 台風26号関係で、ここで改めて現時点でわかっている状況について、特に参加のほうを報告してもらいますけれども、よろしいですか。

○委員長（崎山 弘君） はい。

○教育長（浅沼昭夫君） では、お願いします。

○指導室長補佐（古塩智之君） それでは、昨日の台風26号に伴います学校での対応につきましてご報告させていただきます。

去る10月15日火曜日に台風26号の接近が予測されていたため、登下校に係る判断基準を記載した幼児・児童・生徒への安全確保等への対応についての文書を各幼稚園・学校へ発出してございます。

判断基準といたしましては、午前7時の段階で暴風警報または特別警報が発令されていた場合、自宅待機、午前10時まで解除された場合は、それから登校。ただし、給食がないため午前授業、午前10時まで解除されなかった場合は臨時休業とするものでございます。

翌日16日午前7時の段階で暴風警報が発令中でしたので、児童・生徒につきましては自宅待機としておりました。また、その段階で当日の給食は食材の調達の関係で中止を決定しております。そして、市立幼稚園につきましては、水曜日で午前中のみの活動日であったことから、この7時の段階で休園を決定させていただいております。その後、10時の時点でも警報が解除されなかったため各学校においては臨時休業といたしました。結果、市内33校全校休校となっております。

施設関係の被害につきましては、特段目立ったものはございませんでした。また、14日月曜日からセカンドスクールを実施しております本宿小学校の対応につきましては、当日ハイキングを予定しておりましたが、児童の安全確保のため、午前中は山荘で待機し、午後に北杜市の体育館での室内活動に変更して過ごされたということでございます。

なお、ハイキングは、本日の午前中にコースを短縮して実施しておるという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） 報告ありがとうございました。

ただいまの報告につきまして何かご質問ございますでしょうか。お願いします。

○委員（齋藤裕吉君） どのような対応をとるか対応はなかなか難しく、教育委員会の判断が大変だと思うのですが、この警報が10時に解除されたかされないかということですね。これは、各家庭ではどのような方法で承知、情報を得る形になっているのでしょうか。

つまり、テレビを見て判断してくださいとか、あるいは連絡網を流しますとか、あるいは一斉通信でやりますとか、何かその辺がどのようになっているのかちょっと確認したいのですが。

○委員長（崎山 弘君） お願いします。

○指導室長補佐（古塩智之君） 基本的には、10時の段階でも警報解除されていない、その場合の判断は、各ご家庭で、ご自分で確認をしていただく形が原則となっております。ただ、昨日の台風の対応に関しまして、保護者の方からもさまざまなご意見をちょうだいしておりますので、今後いろいろな課題が昨日の対応でまた見えてまいりますので、その課題を検証しながら、今後の対応をまた検討させていただければと考えております。

以上でございます。

○委員（齋藤裕吉君） そうですね、なかなか難しいところだと思いますけれども、例えば、ご両親ともに仕事がある方々などでは、どうしようかというようなことで、10時まで待つのかとか、きっといろいろな意見があったと思いますけれども、ぜひ、きのうの経験などを踏ま

えて、よりよい対応のあり方をご検討いただければと思います。よろしく申し上げます。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご質問ございますでしょうか。松本委員。

○委員（松本良幸君） 加えて、また次の台風がもう来ていますので、来年に決まっても仕方がないので、まず、例えば、今、先生がおっしゃったように、お父さん、お母さんとも仕事に出る可能性の高い家庭については、事前に調査をしておいて、子供に直接、もし休校になるというような場合だけかとは思いますが、先生が把握していれば、誰々さんの家には「今日は休みですよ」という一言の電話がかけられるかと思しますので、具体的に学校単位で構わないと思しますので、要は、待てない部分もあると思しますが、すべて完璧なシステムはできないと思しますが、重要なことについては対応してほしいという連絡があったらいいと思います。

以上です。

○委員長（崎山 弘君） ほかに何かご意見ございますでしょうか。

では、私のほうから。10時にもし登校となった場合、きのうだと武蔵野線がとまっていたりとか、教職員の方はどうなるのかなというのをちょっと思いました。実際、昨日の場合は、休校となった場合は、職員は全員出勤しなくてもよいという扱いなのでしょうか、全員来るが原則なのでしょうか、教えてください。

○指導室長補佐（古塩智之君） 教職員については、可能な限り出勤ということで、当然交通の寸断によって出勤できない者もいますが、基本的には出勤で待機ということになります。

○委員長（崎山 弘君） ありがとうございます。

ほかに何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（崎山 弘君） それでは、ほかにその他、何かございますでしょうか。お願いします。

○文化振興課長（酒井利彦君） それでは、続きまして、文化スポーツ部関係の各施設の台風の被害状況についてご報告いたします。

文化スポーツ部にはたくさんの施設がございますが、今回の台風によりましては、倒木等大きな被害はなく、若干の施設で雨漏りがあったという程度の被害でございます。

以上でございます。

○委員長（崎山 弘君） ありがとうございます。

ほかに、その他で何かご報告ございますでしょうか。

（発言する者なし）



◎教員委員報告

○委員長（崎山 弘君） ないようでしたら、教育委員報告に移ります。

それでは、各委員、報告をお願いいたします。

○委員（齋藤裕吉君） それでは、前回、9月12日の定例教育委員会以降ということで、齋藤より報告をさせていただきます。

9月14日土曜日ですけれども、午後、府中市美術館でウィリアム・モリスの企画展の開展式に出席いたしました。その後に作品を鑑賞させていただきました。「美しい暮らし」というテーマで、井出館長の解説の大変わかりやすいお話をいただきました。日常生活に結びついた

壁紙とかステンドグラスといった作品でした。現代美術というのは、解説してもらわないと意味がわかりにくいという思いを私は常々持っているのですが、この19世紀のウィリアム・モリスの作品は、その緻密で上品な美しさがとてもすばらしいと思いました。

9月28日土曜日、午前中、府中第四小学校の運動会を参観いたしました。運動会というのは、開会式でその学校の取り組みの様子が非常に見えてくるものだと私は思っているのですが、この日も開会式から参観いたしました。子供たちのそれまでの練習の成果がとてもよくあらわれていてすばらしかったと思います。四小体操というオリジナルな準備運動もとてもよいなと思いました。

9月28日、同じ日の土曜日の午後から「スポーツ祭東京2013」の開会式典に参加いたしました。7年後の東京オリンピック開催が決まったということがあって、恐らくは例年にない盛り上がりを見せた開会式だったのではないかと思います。長い時間の催しだったのですけれども、時がたつのを忘れさせるような内容であったと思います。

次に、10月1日火曜日、午後、総合体育館でスポーツ祭東京の卓球の競技を観戦いたしました。男子の団体を中心に観戦いたしましたけれども、さすがに、どの選手もそれぞれの県の代表だけあって、ハイレベルの技の応酬が見られてとてもおもしろいと思いました。総合体育館は、昨年度見ましたある会で、冷房がないのではないかとということで心配していたわけだったのですけれども、この日はさすがに大したもの、20基ほどのエアコンを取りつけて館内を快適な状態にするということで、関係者の皆様のご努力も感じられる、そういう大会でございました。

それから、10月5日土曜日の午前中に、スポーツ祭東京のデモンストレーションとしてのダブルダッチとフォークダンスの演技を参観いたしました。ダブルダッチでは、府中三小とか十小、あるいはまた二中、こういった学校の子供たちが参加をされていて、なかなかおもしろい競技でした。これは今後、学校の体育活動の中に取り入れていくのもおもしろいかなと思いました。フォークダンスのほうも、第二体育館で会場がやや狭い感じだったのですけれども、本当にあふれるほどの人々の熱気で盛り上がりおりました。

それから、10月10日木曜日、教育委員会訪問。私は、ほかの関係で12時までの参観となりましたけれども、最初に府中十中の訪問をいたしました。地域に根差した学校づくり、小・中連携ということで学校経営方針の説明を受けました。授業参観では、私は以前、五小に勤務していたわけですので、そのころの生徒たちが気づいてくれて、あいさつなども交わすことができました。どの教室も生徒たちは熱心に学習に取り組んでおりました。その後は、南町小学校です。ここでも校長先生等から、児童や教職員の状況などについて課題となる点などの説明を受けました。算数の研究発表会の直前ということもあって、校舎内に算数関係の掲示物が工夫されて配置されておりました。研究発表への意気込みが感じられました。

10月11日金曜日、東京都市町村教育委員会連合会の管内視察研修会に参加いたしました。午前中は、江戸川区にあるグローバル・インディアン・インターナショナルスクール東京校を視察いたしました。大変友好的な雰囲気迎え入れていただき、現地でのその学校での教育活動の様子などを詳しく説明していただき、また、参観することができました。午後は江東区のパナソニックセンターを視察いたしました。ここは訪問者用に整えられた施設でありまして、名前が「リスーピア」というフロアがありまして、推測で、「これは理科と算数かな」と思っ

たのですけれども、やはりそうで、理科と数学の展示というようなものがいろいろありました。子供たちなどの見学、学習に最適な場所かなと思いました。

10月16日、昨日ですけれども、水曜日、府中第八中学校の研究発表会に参加いたしました。「地域と共に『いのち』と『こころ』をあしたにつなぐ学び」というテーマでの研究発表でございました。全体としての感想としましては、地域と連携した防災教育、防災活動、こういう報告がたくさんあったんですけれども、今後、こういったことは府中市の小・中学校のどの学校でも目指していくべきものだと思いますし、また、コミュニティスクールへの取り組みを今進めているわけですので、この防災は、その共通課題の一つでもあるべきだなという思いを強くいたしました。

私から以上でございます。

○委員（村越ひろみ君） では、村越から報告させていただきます。ちょっと長くなるけれどもよろしくお願ひします。たくさん参加させていただいたので、すみません。

まず、9月14日土曜日、「ウィリアム・モリス 美しい暮らし “いちご泥棒” 現る」という開会の式に伺いました。ちょっと時間がなくてゆっくり見られなかったのですが、草花や鳥をモチーフにしてデザインされた壁紙やステンドグラスのすてきさに魅了されました。次回はゆっくり見に行きたいと思っております。

同日、五中の防災訓練の日でしたので伺ってきました。コミュニティスクール協議会の企画の中で行われ、今回は昨年に続いて2回目でしたが、昨年の参加人数を大幅に超える地域の皆さんの参加があって、やはり東日本大震災を忘れることなく防災意識を高めようとする様子がかがえました。ただ、高齢者の方が重層の体育館の地下にあるアリーナにおりる、移動するという事は少し課題があるのかなと、エレベーターも狭いしという声も聞かれましたので、今後、何か対応が必要かなとも思いました。

9月26日、これは青色申告会という税金の関係の会があるのですが、青色申告会の企画の中で、小学生への税の意識を高めさせたいという申告会会長さんの依頼で、夏休み中に税に関する文字を子供たちに書いてもらった書道の審査をしてほしいということで、審査会に伺いました。何と2,700点以上の作品が集まったとのことでした。審査の基準は、専門知識のない私たちでしたので、正しく元気に書かれた文字を選ぶということで、素人なりではありましたが、審査し終えて、子供たちの努力の成果を見ることができました。

次に、スポーツ祭東京2013は、あちらこちら見せていただいでるので、とりあえず行った日にちと内容だけ言います。9月23日月曜日、炬火採火式と炬火リレー、9月28日に総合開会式、9月29日、サッカー競技の第1回戦の観戦、愛知県対新潟県、10月3日がサッカー競技3位決定戦で京都対福島県、同日、卓球の決勝戦及び閉会式、10月5日にダブルダッチとフォークダンス、10月6日、野球観戦、10月7日、野球の5位、6位決定戦、東京対岐阜県、これは東京が勝ちましたね。10月8日の総合閉会式と参加させていただいて、感想を述べさせていただきます。

開会式は、本当にプチオリンピックを見ているような状況で、とても華やかですばらしいなと感動の中に包まれていました。サッカー競技は1回戦よりも、やはり3位決定戦のほうがレベルは上がっているなというのを感じました。卓球は、やはり石川佳純選手が来ていたことかなり盛り上がっていて、決勝の日は満員状態でした。ダブルダッチ、フォークダンスは、ダ

ブルダッチは見て、こんな技ができるのだというのですごく感動しました。野球も東京が勝ったということで、とてもよかったです。閉会式も盛り上がり、ちょっとE L Tの方が見えていたのですが、音響とかがちょっと残念だったかなと思いつつ、閉会式もすばらしかったです。

また、炬火採火式から閉会式まで2週間近くにわたり、市内はまさに国体一色の盛り上がりを見せていたと思います。開会式、閉会式、3競技を観戦させていただき、大会運営にかかわった役員の皆さん、ボランティアの皆さんのご尽力もあっての大成功だったと思います。日本全国からいらした選手の皆さんへのおもてなしも感じてもらえたと思っています。そして、大会を観戦できた府中の子供たちは、レベルの高い選手たちのプレーを見ることができて、中には7年後の東京オリンピックを目指そうと夢や希望を持った子もいるのではないかと思います。そして、私事ですが、炬火リレーのときに北コースの最終ランナーとして走らせていただいて、とても記念すべき大会に参加できたことへの感謝の気持ちでいっぱいです。

続いて、障害者スポーツ大会も報告させていただきます。10月10日に手のひらバレーの観戦、12日が開会式、13日、スポーツチャンバラ、14日が閉会式と参加させていただきました。手のひらバレーもスポーツチャンバラも初めて見る競技だったのですが、何かとても、障害者も健常者もスポーツを通してお互いに通じ合うことができ、人として一つになれる競技なのだと感じることができました。

続いて、運動会についての報告をさせていただきます。9月28日、白糸台小学校、南白糸台小学校、第八小学校の運動会に行つてまいりました。運動会日和のちょっと暑いぐらいの校庭の中で、子供たちは暑さが厳しいかなと思われましたが、3校の子供たちすべて、意欲的に一生懸命演技・競技に取り組む姿を見ることができました。また、白糸台、八小は芝生で、とても何か子供たちが安全に運動できるいい環境にあるなど、また、とても子供たちが映えて見えました。

10月6日、六小の運動会とみどり幼稚園の運動会に行つてまいりました。開催前日の5日の開催予定だったのですが、あいにくの雨で順延されました。六小では前日の雨でできた水たまりを、PTA「おやじの会」の皆さんが校庭整備をして、子供たちは心地よい天候の中で張り切っていました。また、緑幼稚園では、4月に入園した園児たちのすつかり成長した姿を見ることができました。

10月10日、委員会訪問に行つてまいりました。十中と南町小学校を訪問させていただき、十中の生徒は、大変落ちついて前向きに授業に取り組む姿が見られました。また、十中では、道路拡張による校庭の工事があるとのことで、狭くなるとか食事の問題等あるようなので、最良の方法で行われることを望みたいと思います。南町小学校の児童は、とても明るく元気で、あいさつもしっかりしていました。校長先生が言われるおもてなしの心をしっかり受けとめているように思いました。

10月11日、東京都市町村教育委員会連合会の研修会に伺いました。グローバル・インディアン・インターナショナルスクール東京校とパナソニックセンターに行つてまいりました。インターナショナルスクールでは、2歳から16歳までの子供たちが幅広いカリキュラムで学び、子供たちの目はキラキラと輝いていて、とても意欲的に授業を受けている姿が印象的でした。パナソニックセンターは、子供たちがいたらとても喜ぶのではないかなと感じました。

最後に、10月16日、八中の研究発表会に伺いました。台風の影響で生徒たちは休校になったということで、授業を拝見することはできませんでした。また、私用のために研究発表のみの拝聴となりましたが、防災教育と道徳教育の関連を図り、地域とともに備えと構えを築く取り組みをされての発表でした。生徒たちが防災に関するポスターや地震受信機の作成をしたり、また、小・中連携も踏まえての避難訓練も行われ、地域コミュニティとして一体となつての防災意識が高まっている様子を伺い、この八中での取り組みが府中全体の取り組みにつながるとよいのだろうと思いました。

そして、最後に、この1年、教育委員としてかかわらせていただき2年目に入るわけですが、府中市の教育、文化、スポーツを深く知ることができました。また、国体という貴重な記念すべき大会も観戦、参加することができました。まだまだ力不足を感じていますが、どうぞよろしく願いいたします。

以上です。

○委員（松本良幸君） それでは、松本よりご報告させていただきます。

まずは、国体関連ということで以下の行事に出席いたしました。9月23日、炬火採火式、9月28日、国体開会式、9月30日、卓球競技観戦、10月4日、軟式野球競技観戦、10月5日、ダブルダッチ競技観戦、10月8日、国体閉会式、10月10日、手のひらバレー観戦、12日、障害者スポーツ大会開会式、14日、同障害者スポーツ大会閉会式に参加してまいりました。

どの行事や競技も多くの方々께서しっかりと準備をし、競技に参加する方、応援や観戦に訪れる方が気持ちよく過ごすことができる環境を整えてくださったと思います。府中市としても、関係部署の職員はもとより、全部署を挙げて協力体制を敷き、すばらしい国体にしていただけたと思います。また、府中市民の皆さんは、スポーツ関係団体やボランティアを中心に大きな力を発揮し、スムーズな競技運営並びに府中市を訪れた皆様へのおもてなしを支えてくださったと思います。今回の国体開催は準備、運営とも、担当者の方々のご努力により大成功であったと思います。しかしながら、よかったよかったで終わらせるのではなく、成功の中にも反省点や見直すべきところがあったかと思しますので、これから開催される府中市の行事運営や7年後のオリンピック開催へもつながるアフターフォローを、担当された職員の皆様には後継者の方々へぜひとも引き継ぎをお願いしたいと存じます。

その他の行事としまして、9月21日、武蔵台小学校、第七中学校合同開催の防災訓練を参観してまいりました。小・中一貫の活動として、学習だけではなく防災教育にも生かすことはとてもよい取り組みだと感じました。ぜひとも継続していただき、より発展的かつ実践的な防災訓練にしていただきたいと思います。

9月26日、青色申告会主催の税の書道展出品作品の審査会に出席しました。どの作品も力のこもったすばらしいもので、優劣をつけるには申しわけないほどの秀作ぞろいでした。

9月28日、南町小学校、住吉小学校の運動会を参観してまいりました。秋晴れのもと、子供たちは力いっぱい校庭を疾走し、生き生きと演技をしていました。2学期に入って1カ月足らずの期間しかない中、ご指導くださいました先生方に感謝申し上げます。

10月6日、小柳幼稚園の運動会を参観してまいりました。前日の雨で日曜日に順延された運動会になりましたが、先生方や保護者により整備された園庭では、園児の皆さんが笑顔で駆

けっこや踊りを披露し、すばらしい運動会でした。

10月10日、25年度第2回教育委員会訪問で第十中学校、南町小学校へ伺ってまいりました。第十中学校では、「明るいあいさつ・きれいな学校」を目標として指導されていますが、文字どおり、学校は開校後33年を経過していることを感じさせないたまたまを保っていました。また、授業風景もとても落ちついていて小規模校の長所を生かした指導をされていることを感じました。校内視察の後は、都道延長工事で収用が予定されている校庭部分を見せていただきました。学習環境に大きく影響のある工事ですので、できる限りの方策を考えていただき、生徒たちの学習環境が悪くならないようご配慮をお願いしたいと思います。

南町小学校では、児童たちの明るい声が校舎内に響き、活気のある学校の印象を受けました。中でも英語の授業では、手づくりの写真教材を使用してALTと担任の先生が協力しながら楽しく指導しておられました。全体的な印象として、校長先生の力強いリーダーシップが感じられ、学校全体の推進力が感じられる学校視察でした。

10月11日、市町村教育委員会連合会管外視察研修に参加してまいりました。午前中は、インド系のインターナショナルスクールであるグローバル・インディアン・インターナショナルスクール東京校の視察を行い、午後は、パナソニックセンター東京を見学してまいりました。インターナショナルスクールでは、直接的にフィードバックできる部分は少ないながらも、少人数単位の教室やヨガの授業など、特徴のある指導が印象に残りました。

昨日、10月16日、第八中学校研究発表会に参加してまいりました。「『いのち』と『こころ』をつなぐ学び」をテーマに、地域、保護者、小学校と連携した防災活動を中心に、中学校教育の中で生かす方策を研究されてきた結果について発表していただきました。防災教育という大きな課題を理科や技術、道徳等の各教科へ展開し指導し、また、地域と連携した避難所初動対応訓練の実施などを行うなどにより実践的な指導を行われてきたことは、すばらしい成果を生み出したものと思います。今回の研究テーマは従来にない初めてのものでしたが、生徒や地域にとって必ず役に立つものですので、ぜひとも継続していただき、より充実した防災教育のモデルを確立していただきたいと思います。

以上で報告を終わります。

○教育長（浅沼昭夫君） 続きまして、浅沼が報告いたします。なるべく重複の報告があった点については割愛しながら申し上げます。

9月14日、府中市美術館のウィリアム・モリス展のレセプションに出席いたしました。

続いて22日、ルミエール府中で開催されました府中市立小・中学校PTA連合会とNPO法人地域教育ネット共催の進学相談室の第1部の開会式に参列してまいりました。

続いて28日、午前中に第一小学校と若松小学校の運動会に参加しました。第一小学校では、児童が芝生の上ではだしで競技をしていました。低学年の玉送りで勢いよく転びましても、すり傷などはなく、すぐ起き上がって参加するという状況が見られまして、安心して参観することができました。また、若松小学校では、メインの校庭と離れている芝生の場所を自転車置き場に使用するなど、工夫して運営されていました。目を引いたのは、男性の先生の表現のダンスの模範演技でした。教育課程の改定に伴い、先生方の指導も着実に変わってきていることを実感いたしました。

午後には、スポーツ祭東京2013開会式に参加しました。開会式典での生演奏を高校生が

務め、武蔵国府太鼓の演奏など、さまざまな工夫がなされている演出でありました。ホルンやレーザー光線の演出もあり、屋外のコンサートと縁のない私にとっては大変新鮮に感じました。

続いて、9月30日、郷土の森体育館で開催されました卓球競技を観戦いたしました。人気、実力ともに最高の山口県代表の石川佳純選手の試合もあるということで、大変な盛況でございました。

続きまして10月10日、教育委員会訪問として府中十中、南町小学校、その後に郷土の森総合体育館で行われている全国障害者スポーツ大会のオープン競技、手のひら健康バレーを見学いたしました。その後に、市民陸上競技場の小学校陸上記録会に短時間顔を出してまいりました。府中十中では、鷲尾校長先生から学校の状況について説明を受けた後、授業参観いたしました。機会あるごとに感じることですけれども、本校は生活指導を大切にしており、非常に落ちついた雰囲気の中で授業が進められていました。また、先ほどご報告がありましたように、道路の拡張に伴う校庭のセットバックについて、出口を確認していただきました。

南町小学校では、五十嵐校長先生から、学校の概要、研究協力校としての算数科の取り組み状況、地域保護者の教育力の導入、研修報告会、算数の補充授業としてのサマースクールなど、独自の取り組みで学校の活性化を図っている状況がよく理解できました。明日は研究発表会がございますので、大変楽しみにしております。

10月11日は、都市教育委員会管外研修ということで、グローバル・インディアン・インターナショナルスクール東京校を視察いたしました。

続いて12日、障害者スポーツ大会開会式に参加した後、府中グリーンプラザで開催されました防犯協会主催の地域安全市民のつどいに出席いたしました。「子供と女性の被害防止」をスローガンにしまして、地域の子供は地域で見守り育てようということで、サイバー犯罪について警視庁青少年課の監理官の講演がございました。また、第2部では、府中第四小学校のハーモニーブリーズジャズオーケストラの演奏がありました。演奏も大変見事でしたが、その活動を支えている保護者の皆様の支援の動きがすばらしく、加えて卒業生も参加するなど、今後とも充実した活動が期待されると感じました。

13日の午後であります、東京都退職校長会府中支部の教育懇談会に出席いたしまして、「府中市の学校教育の現状とこれからの教育」というテーマで1時間ほどお話をしてまいりました。

最後ですが、16日午後、第八中学校の研究発表会に出席いたしました。台風のために公開授業がなくなりましたが、南三陸町の志津川中学校の佐藤先生の「地域を愛し、地域に根ざして生き生き活躍する生徒の杖」というテーマの大変中身のある講演をお聞きいたしました。八中の研究は、「地域とともに『いのち』と『こころ』をあしたにつなぐ学び 備えと構え」ということでありまして、防災に対する構えとその行動を支える心を道德教育を中心に育てるという極めてユニークな研究だったと思います。研究の成果を市内各校でも共有しつつ、さらに課題解決に取り組んでいただけるものと期待しております。

以上であります。

○委員長(崎山 弘君) それでは、最後に崎山から報告いたします。

9月28日の臨時教育委員会で、再度委員長として選出されました。教育委員としては7年目ですが、まだまだ勉強不足のことが多々あると痛感しております。そんな中ではありますが、

他の委員の皆様と一緒にしっかりと職務を果たしていきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

他の皆様と重複しますので、1件のみ報告いたします。

この1カ月で一番印象的でありましたのは、やはり国民体育大会並びに全国障害者スポーツ大会の開会式並びに閉会式でした。2020年の東京オリンピックの開催が決まった直後の国体が東京で開催されるという条件もあって、非常に盛り上がった大会だったと思います。しかし、そのような状況を別として、時間をかけてしっかり準備すること、多くの人たちが協働してつくり上げること、強い意思をもって実行することが大切であり、そして、参加する者が楽しむことができ、運営としては大成功であったのではないかと感じました。文化スポーツ部国体推進室の皆様をはじめとして、関係された方々に感謝申し上げます。

それでは、これもちまして本日の教育委員会は閉会といたします。

どうもお疲れさまでした。



午後2時37分閉会